

ご町内のみなさん。おはようございます。日本共産党庄原市議会議員の藤木くにあきでございます。日頃よりあたたかいご支援をいただき、本当にありがとうございます。この場をお借りしまして、庄原市政の問題について、お訴えをさせていただきます。大変お騒がせいたしますが、しばらくの間、ご協力をお願いいたします。

さて、みなさん。いよいよ市議会議員選挙が目前に迫ってまいりました。私たちは、みなさんの声にこたえ、財政難のもとでも、市民のくらし、福祉、教育を優先させるため、全力をつくしてまいります。

今度の選挙は、定数8減の大激戦です。ごつか、みなさんのお力で、日本共産党の議席を、なんとしても、確保させていただきますよう、心からお願いいたします。

この4年間、日本共産党の3人の議員は、力をあわせ、みなさんの切実な願いの実現に、全力をつくしてまいりました。

第一に、90億円もかかる、不要、不急のケーブルテレビ事業を凍結させ、2億円という、安い事業費で、インターネットが、一部の地域を除き、全市で利用できる環境を整備することができました。

第二に、子どもの医療費助成を、これまでの、小学3年生までを、小学6年生までに拡大し、妊産婦検診の助成券も、これまでの10回から、14回に増やすことができました。

第三に、一人くらしの高齢者、障害者の安否確認を、これまでの、2週間に1回から、週1回に増やすことができました。

第四に、小中学校の耐震診断を実施させ、庄原中学校、庄原小学校が建替えの方向となり、その他の学校の耐震補強工事も実施されています。

第五に、さまざまな生活相談にとりくみ、その多くを解決してまいりました。これも一重に、みなさんのご支援のおかげと心から感謝いたしております。

さて、私たちは、今度の選挙にあたり、次のことを実現するため全力でたたかってまいります。

第一は、財政危機の克服です。

財政危機の真の原因は、自民党、公明党の悪政にあります。しかし、不要、不急の大型建設事業を優先してきた市政にも、大きな問題があります。私たちは、不要、不急の大型建設事業やさまざまな経費を節減させ、市民のくらしをまもる財源を生みだします。

第二は、若者に、働く場を確保することです。

現在、若者の2人に1人が、非正規雇用です。こうした社会に未来はありません。私たちは、国民運動と、力をあわせ、国政も変革して、若者に、安定した仕事を保障するため、全力をつくします。

第三は、出産医療の再開です。

庄原市赤での出産がストップして丸4年になります。「1日も早く再開してほしい」これが、みなさんの率直な声です。私たちは、医療行政に責任をもつ国や県に、責任をもって、産婦人科医師を派遣させるため、全力をつくします。

第四は、保育料の軽減です。

現在は、兄弟がいつしよに入所していなければ、第2子、第3子の保育料は安くなりません。私たちは、第2子、第3子は、無条件に軽減させるため、全力をつくします。

そして、総選挙では、中林よし子さんを先頭に、政党名で投票いただく比例代表選挙で、議席回復に全力をつくしてまいります。

第五は、住宅リフォーム助成制度の創設です。

この制度は、住宅、店舗のリフォームをおこなう場合、市内の業者に工事を発注することを条件に、工事費の一部を市が助成するというものです。不況のなか、二次市が実施して好評です。市内の業者の仕事が増え、市民のみなさんも助かる制度の実現に、全力をつくします。

第六は、国保税の引き下げです。

ためこんだ国保会計の基金6億6千万円のうち、約6千万円を充てれば、一世帯平均1万円の引き下げが実現できます。私たちは、そのために、みなさんと力をあわせ、全力をつくします。

第七は、イノシシ駆除の徹底です。

イノシシによる被害が深刻で、農家の生産意欲を失わせています。イノシシを捕獲する、箱わなを市内に満遍なく設置させ、駆除を徹底し、イノシシの頭数と被害の減少に、全力をつくします。

そのために、新しい政治のあり方を報道する、「しんぶん赤旗」のご購読と、みなさんの、大きなお力添えを、心からお願いいたします。私の、お訴えとさせていただきます。ご清聴いただき誠にありがとうございます。ごつか、最後までよろしくお願いいたします。